

## 散策スポット紹介…福沢諭吉と山北の酒



福沢諭吉が、明治時代の10年代から20年代にかけて岸地区を訪れていたことは、岸広報で紹介をしました。(136号・H27年3月)

慶応義塾が現在の港区三田に土地を求めた際に協力した僧侶の大島仁宗が、明治9年に岸地区とは目と鼻の先の千津島の天福寺に移住したことが福沢と足柄地区との関わりのきっかけでした。隠居生活の大島仁宗のもとへ福沢は幾度となく訪れています。

激動する明治維新の最中でも、福沢は家族や門下生を連れて度々箱根(塔ノ沢)に湯治に来ています。宿泊先は萬翠楼福住が多かったようです。この宿の主人の福住正兄(ふくすみまさえ)は、二宮尊徳の弟子で四天王の一人と言われる程の人物で、福沢とも交流がありました。

ところが酒好きの福沢の口に箱根の酒は合わなかったようで、湯治に来るたびに『箱根の酒はずい』と嘆いています。

この福沢の嘆きを耳にした門下生がいました。慶応義塾で英語を学んでいた医師の安藤正胤(あんどうまさたね)です。

安藤は駿東郡江之浦(沼津市)の出身で、小田原でも開業していたという話もありますが、詳しいことは、不明です。

この安藤が福沢の家に酒を贈っています。明治20年頃の話です。ところが福沢はいつものように箱根に湯治に行っていたため、酒は塔ノ沢の萬翠楼福住に転送されています。

この酒が山北の神縄で醸造された【福龍】です。現在の神縄地区は丹沢湖の入口の小さな集落ですが、明治時代は旅館3軒、小学校、銀行、郵便局、派出所等があって、大変賑わった地域でした。

この名主の山崎家に安藤は何回も逗留しているため、山崎家の分家が造っていた【福龍】を安藤も味わっているはずで

す。美味しい酒を贈られた福沢は、安藤に感謝の手紙を送り『最上の美酒を味わった』と評しています。この手紙は現在も山崎家で保管されています。

山北に美味しい酒がある事を知った福沢は、千津島を訪れた際には岸の名主の尾崎家にまで足を運び、【福龍】を味わったのではないかと想像されます。尚、福沢は非常に健脚であったので、神縄地区まで行ったのではないかと、言う話もありますが確定している訳ではありません。

《参考文献 足柄乃文化第30号・41号、史談足柄第50集 他》

## カメラ散策

### マンホールカード



今回の散策は、カメラを足下にむけてマンホールのふたを探してみました。岸地区には主に4種類あり、役場の方に伺って左から古い順に並べました。最も古いタイプはコンクリート製、最新の「でごにい」と「でごみい」のものは、2023年から使われているそうです。宿の旧川西屋さんの前の道路にあります。因みにこの図柄のカラーのものが山北中付近にあるらしいです。マンホールカードも大人気で、来年再配布があるかもしれないとのことでした。

# 令和6年度山北町総合防災訓練が岸地区で実施されました。

## —地震発生時の基本行動・安全と安否—

9月29日(日)、令和6年度山北町総合防災訓練が岸地区と川村小学校で実施されました。

この防災訓練は、毎年山北で町の防災力向上のために行われ、今年は南海トラフ地震を想定し町と岸連合自治会の合同で、岸地区及び川村小学校を主会場に実施されました。

岸連合自治会は町と数回にわたり打ち合わせ、各地域で実施する災害時の安全確保と安否確認、川村小学校で実施する4つの訓練体験と展示見学を行うこととなりました。

当日の29日朝8時各地域の家庭で地震を想定した「身を低くする・頭を守る・動かない」の地震発生時の基本姿勢訓練(シェイクアウト訓練)を行い、各組の集合場所で安否確認を行いました。その後、各自治会の三役および組長は、小学校への避難経路における危険箇所を確認しながら移動しました。

川村小学校には、岸連合自治会・各自治会三役と組長・第四分団員で約100名がヘルメットを着用して避難参集し、各自治会から安否情報を町に報告しました。

## —災害時の支援・避難を訓練—

9時からは訓練開始式が行われ地域防災課長から町長に対し安否確認状況報告が実施されて、訓練が開始されました。

会場の川村小学校体育館では、「避難所開設訓練」「応急救護訓練」「災害時救出訓練」「避難行動要支援者訓練」と防災用品の展示、災害対応の啓発などが行われました。

体育館の外では「初期消火」「災害用トイレの展示・啓発」「ペットの避難要領の啓発」の体験・見学も行われました。

## —川村小学校での訓練—

各自治会から参加者約100名は4つのグループに分かれ「避難所開設訓練」「応急救護訓練」「災害時救出訓練」「避難行動要支援者訓練」を体験し、防災用品や各展示を見学しました。



訓練開始式



避難所開設



簡易ペット組み立て

災害対応の啓発

- ◆「避難所開設訓練」では、地震発生により川村小学校に避難所を開設すると想定し、テントの設営やダンボールベッドの設置などを体験しました。
- ◆「応急救護訓練」では三角巾の使い方など災害時の手当等の応急救護訓練を体験しました。
- ◆「災害時救出訓練」では、南海トラフ地震の概要や、事前に取り組む自宅の安全確保・備蓄について学び、バールやジャッキの操作を体験しました。
- ◆「避難行動要支援者訓練」では、災害時に避難する際に支援が必要な方に対する対応について町職員からの説明を受けました。



災害時の救出訓練



避難行動要支援者訓練



応急救護訓練

## —訓練で共通に思い・考えたこと!!—

- ・参加者は各訓練会場では講師の話に熱心に耳を傾け、積極的に様々な体験を行いました。
- ・今回の訓練参加で得た体験が、災害時に生きると感じられる防災訓練となりました。

## 納涼花火&ミニイベントが盛大に開催 ～納涼打ち上げ花火 夏の夜空を彩る～



8月3日(土)、ぐみの木公園前の河川敷で納涼花火が打ち上げられました。今年は「モルック」の体験会、手持ち花火大会、(株)トヤマ社員による生演奏、三菱ガス化学(株)山北工場、(株)トヤマによる模擬店、キッチンカー総菜店の出店、等々があり、会場は約300人の来場者で賑わいました。

## 「河村城まつり」が行われました！

2024年(令和6年)9月15日 会場 河村城址歴史公園



甲冑隊 (かっちゅうたい)



河村氏 家紋



### 祭事(式典)

今年第30回の「河村城まつり」が河村城址保存会の主催で行われました。

式典は河村氏発祥の地「河村(川村)郷・山北町」に思いをおこし、全国各地から来町された河村氏の子孫と各種団体の代表による献香が行われました。

式典後には各アトラクションが行われ、コロナ禍で中断していた流鏝馬が6年ぶりに披露され、見事的に射抜いた妙技に拍手と歓声があがりました。また、今年は岸ボランティアの甲冑隊が加わったのろし上げが行われ、岩原城ののろしも確認出来ました。また、山北中学校の吹奏楽部や川村囃子(山北)の皆さんが参加し花を添えていました。



のろし上げ



流鏝馬



山北中学校吹奏楽部演奏



川村囃子(山北)披露

# 第57回 山北町球技大会開催

## 岸チーム優勝



6月9日(日)、「町民誰もが楽しめる・ソフトボール・バレーボールを通して、地域住民相互の親睦を深めると共に、体力づくりと健康増進を図る」ことを目的として、山北町球技大会が開催されました。

バレーボールは、4チームが参加しリーグ戦形式で行われ、どの試合も熱気に溢れたものでした。岸チームは、20歳代から70歳代の女性選手14人で構成され、3戦全勝で優勝されました。

試合に先立ち、長い間出場されてきた方へ賞状と記念品が贈られました。

岸地区では、中川直視さん(20回)、深野雅子さん(40回)が表彰されました。

注) ソフトボール、岸地区はエントリー無し



### <健康普及員からのお知らせ>

#### 健康教室 「ダンベル体操」

日時；令和6年11月14日(木) 10:00~11:00

場所；高齢者いきいきセンター

健康づくりのために是非ご参加ください。  
お待ちしております。

岸地区健康普及員

### <青少年指導員の活動>

今年度の夜間パトロールは、8月17日(土) 19時から岸地区青少年健全育成会の会員23名が、各自治会別に徒歩で巡回を行いました。

巡回後の報告では、各地区とも大きな問題はなく、街路灯がないところがある等が指摘されました。該当する自治会で改善することを確認しました。

また、8月3日納涼花火打ち上げ前に行われた「モルック」体験会の運営を支援いたしました。

### <お知らせ・今後の日程>

- 10月20日(日) 統一美化クリーンキャンペーン
- 10月24日(木) 敬老茶話会
- 11月3日(日) 室生神社流鏝馬
- 11月6日(水) 町長との座談会
- 11月12日(火) 真鶴自治会との交流会
- 11月19日(火) 自主防災リーダー研修会
- 1月12日(日) どんど焼き

### 編集後記

夏の夜空に花火が打ちあがりました。闇夜に広がる一時の音と光のショーを楽しんでいただけましたでしょうか?

「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が到来した」と言われるほど、今年は本当に暑かったですね!!